

令和元年度第1回緑区支え合いのまち推進協議会議事要旨

【開催】

開催日時 令和元年7月6日（土）14：00～16：30

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員22名中20名出席、ガイドヘルパー1名
緑区長、緑区副区長、千葉市保健福祉局地域福祉課1名、
緑区地域振興課地域づくり支援室室長、
緑区地域振興課くらし安心室室長
事務局7名（緑保健福祉センター所長、高齢障害支援課2人、
社協緑区事務所4名）

【次第】

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 議 題
 - (1) 副委員長の選任について
 - (2) 広報部会委員の選任について
- 4 報 告
 - (1) 社協地区部会
 - (2) 町内自治会連絡協議会
 - (3) 民生委員・児童委員協議会
 - (4) 福祉推進団体等
- 5 その他
- 6 閉 会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）副委員長の選任について

（岡本委員長）昨年度、副委員長を務めていただいた関本前副委員長が委員を辞任されたため、改めて副委員長を選任したい。現在、委員長である自分は椎名地区、田宮副委員長はおゆみ野地区から選出されているので、誉田地区か土気地区の委員の方にお願ひできればと考えている。関本前副委員長が誉田地区からの選出であったので、誉田地区から推薦していただくということではいかがか。

（全 員）異議なし

（大槻委員）社協誉田地区部会の篠崎委員を推薦する。

（岡本委員長）篠崎委員の推進があつたがいかがか。

（全 員）異議なし

(岡本委員長) それでは、篠崎委員を副委員長に選任させていただく。

(篠崎委員) 自分は今年度から委員となったので、計画の内容等把握できていない部分もあるが、この計画が逆行することのないよう努力していきたい。よろしくお願ひしたい。

議題(2) 広報部会委員の選任について

(岡本委員長) 昨年度、広報委員長を務めていただいた中村前広報委員長が辞任された。また、その他にも委員の入れ替わりがあったので、後程各地区で話し合っ
て決めていただきたい。

※各地区には話し合いを行った結果以下のとおり決定

【広報委員】

委員長…田宮副委員長

誉田地区…篠崎副委員長、石本委員、山岡委員

椎名地区…岡本委員長、本田委員

土気地区…茂田委員、小林委員、廣田委員

おゆみ野地区…(田宮副委員長)、松戸委員、高橋委員

各委員からの活動報告(1) 社協地区部会 ①誉田地区部会

(篠崎委員) 資料「地区部会－1」の内容を発表。

誉田地区部会は7つの委員会を設け、その委員会が中心となって活動している。

取組項目4「障害者(児)が集う場の開設・拡充・情報提供」であるが、障害者施設への訪問を通じ、障害者が集う場の確保が可能なのかどうか検討をしていきたい。

取組項目2-1「身近な防犯、安全対策」であるが、学校付近での不審者の情報が増えているため、住民がいっしょに防犯活動に参加し、また交通安全活動にも協力し、安全対策に力を入れていきたい。

取組項目2-6「見守り活動の推進」であるが、見守り推進委員会を設け、普及活動に努めている。現在、誉田地区では7つの地域で活動が行われているが、他の地域ではあまり検討もされていないので、啓発活動に努めていきたい。

その他として、今年度から12連協と50連協が分割したことに伴い、誉田地区部会の分割も検討しており、分割に向けた調整等を行っていき
たいと考えている。

各委員からの活動報告(1) 社協地区部会 ②椎名地区部会

(本田委員) 資料「地区部会－2」の内容を発表。

今年度の取組予定については資料のとおりである。この中で、昨年度B評価であった2項目について重点的に説明させていただく。

まず、取組項目7「地域の行事への積極的参加の呼びかけ」であるが、昨年度、あんしんケアセンターと連携し、町内自治会単位で健康相談会を開催したが、当初予定していた自治会での開催ができなかったことから、B評価とした。今年度はA評価となるよう努力していきたい。

次に、取組項目31「ボランティアの確保」であるが、ボランティアの高齢化等の問題もあり、身近なボランティア活動の推進が思うように進まなかったためB評価となったので、こちらも今年度の課題のひとつとして捉えている。

その他の項目についても、内容の充実を図っていききたいとは思っているが、これらの事業を推進していくにあたっては、14連協の協力なしには進んでいけないと思うので、連携を密にしていきたい。また、14連協以外にも民児協やスポーツ振興会など様々な団体との連携も密にしていきたいとも思っている。

なお、今年度椎名地区では、千葉市やスポーツ振興会などの共催による「わくわくヘルスアップ」というイベントが予定されており、そのイベントへの協力も予定している。

また、今年度の新たな取り組みとして老々介護を行っている家庭への支援を考えており、そのような家庭に向けた介護保険の出前講座の実施について、あんしんケアセンターと連携し開催している。

各委員からの活動報告（1）社協地区部会 ③土気地区部会

（茂田委員）資料「地区部会－3」の内容を発表。

取組項目3「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」であるが、いきいきサロンの未設置地区への対応と参加者の増員、ふれあい食事サービス参加者の増員等を推進していきたい。

次に取組項目24「助け合い活動の推進」であるが、昨年度大木戸台自治会で立ち上がった「大木戸台シニア支援の会」への支援の継続と他地区への普及活動を行っていききたいと考えている。

取組項目25「外出困難者への支援」については、地域内で活動している福祉有償運送サービスの休止が予定されているので、それに代わる何かを検討することが課題かと考えている。

取組項目26「見守り活動の推進」については、大木戸台シニア支援の会で組織化に向けた検討を行っていることから、引き続き支援をしていきたい。

それ以外では、活動の担い手の高齢化もあり、新たな担い手が増えてこないという問題がある。担い手が増えないと参加者も増やせないなので、これについては大きな課題として捉えている。

各委員からの活動報告（１）社協地区部会 ④おゆみ野地区部会

（伊東委員）資料「地区部会－４」の内容を発表。

取組項目２「子ども達の集いの場の提供・情報提供」であるが、放課後カフェという中学生の居場所づくりを有吉中学校の協力の下、開始した。まだ、お試しの段階であるが、年３～４回開催していきたいと考えている。取組項目４「障害者（児）が集う場の開設・拡充・情報提供」、取組項目５「子育ての中の親や子どもが集う場の開設・拡充」については、障害者や子どもたちが楽しめる事業を継続しつつ、障害者（児）の家族や子育て中の親が息抜きできるようなプログラムを行っていきたいと考えている。

取組項目２４「助け合い活動の推進」、取組項目２６「見守り活動の推進」については、地区連協と連携を図り推進していきたいと考えている。

取組項目２７「健康づくり支援」については、スポーツ振興会からボッチャの道具を借り、小学生や障害者（児）と体験を行っていきたいと考えている。

それ以外には、避難所運営委員会の対象にならないような小規模または局地的な災害（竜巻など）時に地区部会がどう対応するのかというマニュアル作りの検討を行いたいと考えている。

（岡本委員長）以上が４地区部会の取組内容である。資料「地区部会－１～４」の「②令和元年度の新たな取り組み等」が今年度の新たな取組になるが、何か質問はあるか。

（岡本委員長）おゆみ野地区部会のボッチャの体験については、どのように行っていくのか。

（伊東委員）スポーツ振興会に指導員が２名いるので、その方や育成委員会と協力し、サロン内で実施したり、小学校に訪問し開催したりしていきたいと考えている。

（鴨委員）誉田地区部会の障害施設への訪問とは、具体的にどういう施設に訪問しているのか。

（篠崎委員）知的障害者の施設等を訪問している。

（緑区長）昨年度の資料では、しいのみ園を訪問し、エルピザの里、銀河舎、たけの子工房等を訪問する予定となっている。

（岡本委員長）１１月に予定されている第２回推進協議会では、今回発表のあった項目についての進捗状況の報告をお願いしたい。

各委員からの活動報告（２）町内自治会連絡協議会

（大槻委員）資料「地区連協－１」の内容を発表。

今年度の誉田地区連協の活動としては、まず「学校との連携」を重視して

いきたいと考えている。誉田地区連協のエリアには、小学校2校、中学校1校があり、学校支援地域本部というものを組織化している。特に誉田小学校では、ボランティアの方が昔遊びの指導や子どもたちへの書道やミシン等の授業を実施している。また、そのような活動を行ってきた中で、県の教育委員会から地域学校協働活動推進員研修講座への参加要請があり、現在受講中である。

次に「青少年育成委員会」についてであるが、誉田地区では「元旦マラソン」や「登下校の見守り、声かけ」等の活動を実施していく予定である。

「環境運動の推進」については、誉田地区として初めての試みであったが、千葉大の学生の研究会が作成した環境かるたを誉田地区3校に配り学んでもらっている。

「防犯・防災」については、千葉南警察署管内の防犯協会と共に活動を行っている。なお、8月25日には九都県市合同防災訓練が予定されており、誉田地区の各会場においても訓練を予定している。

「健康づくり」については、できる限り各公園にて高齢者が集いラジオ体操を行っていきこうということで、さくら公園と南公園では30名程に参加いただいている。また、そのラジオ体操の代表者は、周囲の見守り活動も行っている。

(岡本委員長) これら地区連協の活動に対して、地区部会や民児協、福祉推進団体等がどうやって連携していけるのかということになるかと思う。何か質問等はあるか。

(本田委員) 区民まつりは自治会が主になって行っているから、項目に入れていただいてもいいのではないかと思う。

(岡本委員長) 誉田地区連協からの発表について、緑区の方から何かご意見等あるか。

(緑 区 長) 緑区支え合いのまち推進計画は30項目以上の項目がございます。今回発表いただいている活動以外にも連協様をはじめ、他団体様についても取り組んでいただいているものがありますので、今後事務局として発表するかは別としても整理してお示していきたいと考えております。緑区は皆様方のお力によって支えられているので、今後ともよろしく願い申し上げます。

(緑川センター長) 今回の協議会開催にあたり、連協の大槻会長、岡本委員長とは度重なる打合せをさせていただきありがとうございました。また、今回の誉田地区連協の資料作成においても大槻会長にはご尽力いただきましてありがとうございました。今後、各地区連協の会長様におかれましても、この資料をご覧いただき、それぞれの地区ではこんなこともやっている、またこんなことをやりたいので協力願いたいということがありましたら、区長、また私の方にご相談いただければと思います。

(岡本委員長) 今回、誉田地区連協にお示しいただいたような資料作成を、他の地区連協にもお願いできれば幸いである。椎名地区連協の方はいかがか。

(小山委員) もちろんである。

(岡本委員長) おゆみ野地区はいかがか。

(篠原委員) 大丈夫である。

(岡本委員長) おゆみ野地区では、地域でラジオ体操を行っているという話を別の会議で伺ったが、少しお話いただけると幸いである。

(篠原委員) おゆみ野地区で実施していることは、誉田地区と同じようなことを行っている。その中でおゆみ野では、自治会と民児協が連携して3ヶ所にて、4月～10月の毎朝6時半からラジオ体操を行っており、おおよそ30～40人の高齢者が参加している。おゆみ野では遊歩道が整備されているので、散歩中の方にも参加いただいております。夏休みには子どもたちも参加するので、100人規模になることもある。高齢者の参加が多いことから、健康づくりだけではなく見守り活動にもなっている。

(岡本委員長) 土気地区はいかがか。

(野崎委員) 土気地区連協も同じようなことは行っている。土気地区は、中学校区が4つ、小学校区が6つあり、各地区でそれぞれ課題が異なっている。そういう意味では、連協の分割も検討しなければとも考えている。課題がそれぞれ異なるので、全てに対応しようとしても満足な答えが出てこないと思うので、それぞれの自治会ができることから行ってもらいたいと考えている。

(岡本委員長) 例えばどのような課題があるのか。

(野崎委員) 土気地区は、小規模から大規模までの団地が存在するが、それぞれの団地ができた時期に同じような年代の方が入居したので、30年程前にできた団地はすべて高齢化の問題が発生している。また、一方では、新しくできた団地では高齢者がほとんどいない団地もある。同じ地区に状況が異なる地域が存在している。

(岡本委員長) なかなか一律にはいかないかと思うが、できることから協力・連携していければと思うので、よろしく願いしたい。

各委員からの活動報告（3）民生委員・児童委員協議会

(岡本委員長) 民児協については、現在、誉田地区とおゆみ野地区からは委員が選出されているが、椎名地区と土気地区からは選出されていない。今後は、全地区から選出していけると内容も充実していくと思われるので、事務局と相談していきたいと考えている。

(緑川センター長) 検討させていただければと思います。

(岡本委員長) それでは民児協からの発表をお願いしたい。

(時田委員) 自分からは、緑区民児協全体の取組と501地区の取組を、また502地区の取組については吉田委員から発表させていただく。なお、それ以外の地区の活動については、直接携わってはいないので、ご質問等があれば、持ち帰って確認のうえ次回の会議で回答させていただきたい。

【緑区全体】

資料「民児協－１」の内容を発表。

まず、取組項目１「情報の収集と共有化」であるが、民生委員のことは知っていても、民生委員の活動内容までは知らないという方が多くいる。今年度は、民生委員の活動内容等、細かいPRも行っていければと考えている。

次に取組項目１４「家庭における意識啓発」であるが、現在緑区では７５歳以上の方に居宅用と携帯用の安心カードを配布しているが、次年度からは少し年齢を下げ、７０歳からの配布にしていければと思っている。次に取組項目２６「見守り活動の推進」であるが、民生委員は毎年５月から６月にかけて、７５歳以上の高齢者宅を訪問し、健康調査や居宅調査等を行っているが、その際に振り込め詐欺の注意喚起や災害時の避難行動の確認等の項目も付け加えて民生委員の資料にしていければと考えている。

次に取組項目２８「地域の課題解決に向けた連携」であるが、これについては今年度からの新規事業になる。今までは、全民児連から重点目標が示され、それが県→市町村→区→地区民児協という流れで下りてきていたが、今年は各民生委員が課題を抽出しそれをワークシートにまとめ、それを各地区民児で検討し、区→市→県という流れでボトムアップしていくという流れがとられている。

【５０１地区】

資料「民児協－１」の内容を発表。

まず、取組項目２「子ども達の集いの場の提供・情報提供」であるが、５０７地区民児協と共に誉田地区部会の子育てサロンに主任児童委員を派遣し、運営に参加している。

次に、取組項目２１「身近な防犯・安全対策」であるが、５０８地区民児協と共に有吉中学校区のあいさつ運動に参加している。毎月、１週間程度有吉中学校の校門や裏門に民生委員が立ち、生徒に声かけを行っている。

次に、取組項目２６「見守り活動の推進」であるが、高齢者の実態調査や敬老会の参加確認の時に気になった方については、定期的な訪問を行い、情報の把握を行っている。また、地域で見守り活動を行っている４団体の定例会議にできるだけ参加し、情報交換を行っている。

(吉田委員) 資料「民児協－１」の内容を発表。

自分からは、５０２地区の活動について発表させていただく。

まず、取組項目２「子ども達の集いの場の提供・情報提供」、取組項目３「高齢者が集う場の開設・拡充・情報提供」、取組項目４「障害者（児）が集う場の開設・拡充・情報提供」、取組項目５「子育て中の親や子どもが集う場の開設・拡充」、であるが、特におゆみ野地区部会で行っているいきいきサロン、子育てサロン、お楽しみ会、おしゃべり会、ふれあい散歩などへの積極的な協力を実施している。また、今年は泉谷小学校や小谷小学校の子どもたちに昔遊びを教えたいと考えている。

次に、取組項目16「災害時避難誘導體制の充実」であるが、昨年度に続き、高齢者や避難行動要支援者に対する最新情報の把握に努めていきたい。

次に、取組項目28「地域の課題解決に向けた連携」であるが、508・511地区民児協と共に地域の行事への協力や敬老会開催に向けた協力などを行っている。また、自治会の会長の顔ぶれが毎年変わってしまうことが多いことから、お互いの協力体制の強化を図るため、意見交換会を実施する。

(岡本委員長) 以上、民児協からの発表があったが、何かご質問等あるか。

(小山委員) 今回、民生委員の改選に伴い、辞任する民生委員の代わりを探してもらいたいという依頼が連協の方にあった。もちろん協力はするが、一番ネックになるのが、年齢制限の問題になる。現在では65歳まで働く方が多くおり、少し落ち着いてから民生委員をやろうと思ってもその時には年齢制限に引っかかってしまう。もう5歳くらい年齢制限を引き延ばすよう、国に働きかけてもらえないか。

(土谷補佐) 民生委員さんの年齢については、国としてはできるだけ65歳未満の方というのが基本ではありますが、困難な状況を勘案して千葉市では72歳未満の方であればご推薦いただけるようになっております。

(緑区長) 年齢の関係につきましては、市をあげて取り組んでいきたいとは考えておりますので、ご了承いただきたいと思っております。

(岡本委員長) 直ぐに改善とはいかないまでも、市全体として要望等をお願いしたい。

(篠原委員) 502地区で防災の話が出たが、避難所運営委員会への民生委員の関わりはどのようになっているのか。他の地区では、民生委員も避難所運営委員会の委員になっているところもある。

(吉田委員) 502地区の民生委員はそれぞれの地区の避難所運営委員会の委員になっている。

(篠原委員) 入っていない地区もある。避難所運営委員会としては、民生委員の情報も必要としている。自治会と民生委員はお互い連携が必要だと思うのでよろしくをお願いしたい。

(時田委員) 自分自身も地区の避難所運営委員会の委員には入っている。ただ、民生委員は要支援者の支援に回るという役目を担っているので、避難所運営の役割からは外してもらっている。また、自分の地区の鎌取町内会では避難行動要支援者名簿を取得しているので、見守り活動と合せて災害時の支援方法の検討を行っているところである。また、緑区全体でも協力して行っていければと思っている。

(小山委員) 民生委員は避難所の運営には携われないということ自体が困難な状況を生んでいるかと思う。我々としては、民生委員であっても委員会に入って運営に協力してくれても問題ないのではないかという感覚でいる。委員会の会議に何回も出てみるとその辺が解ってもらえるかとも思う。

- (時田委員) 自分も会議には毎回出ており、運営委員会の運営方法も訊いている。ただし、民生委員が受付係とか道具係とかいう担当になってしまい、避難所に張り付く形になってしまうと、支援を必要としている方への手が回らなくなってしまいますので、民生委員は優先的に要支援者のところに行くということで運営委員会の了解を得ている。
- (小山委員) 支援に行くというのが具体的な手法を尋ねると「民生委員は地区に1人しかいないので」という曖昧な回答しか返ってこない。
- (時田委員) 民生委員は避難所の運営には一切協力しないという訳ではなく、自治会の方やボランティアの方と共に、要支援者の方のところに伺い、その方にどんな支援が必要なのかという名簿の作成や避難経路の確認等を行っていくということで、鎌取町内会は検討しているので、ご理解いただきたい。
- (岡本委員長) 次回の民児協の報告の中にこの問題について、今後どうなっていくのかということを入れていただけるとありがたいと思う。課題として残ってしまったとしても構わないので、お願いしたい。
- (廣田委員) 自分は、地域のある防災担当の方とお話をする機会があったときに、「障害のある方は直接福祉避難所に行くことになるのでしょ」ということを聞かれたことがあった。まず、地元の避難所に避難したうえで、一般の避難所では生活が難しい方は福祉避難所に行く手配をするというのが本来の流れかと思うが、違う認識の方がいてとても驚いた。みんなの認識がひとつでないが一番困ってしまうのは障害のある方やハンデのある方なので、認識の共有をお願いしたい。
- (篠原委員) 実際に自分自身も福祉避難所については最近になって初めて知った。福祉避難所については、よく分からないこともあるので、今のご指摘はありがたい。
- (阿曾室長) 緑区の担当から説明させていただきます。まず、第1段階として災害時には障害のある方も避難者は全員小・中学校の体育館等の指定された避難所に避難していただきます。各避難所へは、高齢者の方や障害のある方など支援を必要とする方が記載された名簿を持った市の避難所担当職員が赴きますので、その職員に引き継がれます。その職員が要支援者の容態等に応じ、学校の教室等を利用した福祉避難室や福祉施設等を利用した拠点福祉避難所に移送する手配を行うようになります。
- (時田委員) 自分の地区では、拠点福祉避難所が高齢者福祉避難所（けやき園）と障害者避難所（鎌取晴山苑）の2ヶ所が指定されている。そこにどのように何人くらい運べるのかということが、委員会で話題になったことがあり、施設に赴き話を聞いたことがあった。施設の方の話では、市とはどのように何人受け入れるのかという契約はしていないということで、災害の時に市と協議して何人受け入れるか決めるということであった。そういう意味では一般の避難所に誰をどこに移送するのかという判断を下せる医療機関の方等の配置が必要なのではないかと感じた。
- (岡本委員長) それでは、民児協としては、①あんしんカードの配布を70歳からとすること、②避難所運営委員会への民生委員の関わり方、③災害時の要支

援者への対応 の3つについて今後検討いただけると幸いある。

各委員からの活動報告（４）福祉推進団体等

【おゆみ野女性の会】

（田宮委員）資料「福祉推進団体等－１」の内容を発表。

配布資料「～悲惨な戦争を二度と繰り返さないために～語り継ごう戦争体験」のとおりイベントを開催するので、ご参加いただきたい。

また、我々が立ち上げた「さくらさくさくウォークラリー」が様々な団体からご協力をいただき、とても盛大に開催できるようになってきていることに感謝したい。

【社会福祉法人ワナーホーム】

（山岡委員）資料「福祉推進団体等－２」の内容を発表。

ワナーホームでは、精神障害者を主に支援をしている。病状は落ち着いていても20年、30年と長い入院により、社会から取り残されてしまっているような方に向けて少しずつ地域で生活していけるようにするためのグループホームを運営したり、作業訓練を通じて就労に繋げるような活動をしている。また、パンを作っており、各所での販売やイベント等での販売を通じて市民の方への啓発活動も行っている。

また、事業所内での地域に向けたイベントも開催予定である。

また、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業を千葉市から受託しており、市民の方への啓発や交流、イベント等の開催も行っている。

【社会福祉法くちなし セルフ・ガーデンハウス】

（小林委員）資料「福祉推進団体等－２」の内容を発表。

私どもの取組は、すべて昨年度かの継続項目である。実績を掲載しているものもあるが、中学校への福祉教育については、9月に越智中、10月に土気中での開催を予定している。土気南中、大椎中はこれから交渉していく予定である。その他は資料をご覧ください。

※その他「千葉市身体障害者スポーツ大会概要報告」の資料を基に当日の様子の説明をいただいた。

（岡本委員長）自分は、この障害者スポーツ大会を観戦してきた。その中で一番感動したのは、ボランティアの方の姿であった。中学生たちがボール拾いのボランティアをしてくれており、いろんな方がこの大会に関わってくれていることに感銘を受けた。

【千葉市精神障害者南地域家族会】

（鴨委員）資料「福祉推進団体等－３」の内容を発表。

千南会では、まず毎月第3土曜日に例会を実施しており、毎回15名程が

参加し、自分たちの困っている問題や課題について話し合いや、新たに参加される方への支援等を行っている。

次に、第2・第4金曜日に「おしゃべり会」をたけの子工房にて実施し、主にひきこもりの子を持つ親が参加し、我々のノウハウをお伝えしている。

また、年に2回「千南会」という会報を発行して啓発活動も実施している。

また、年に1回は拡大例会として講演会の実施を行っている。今年度は「精神科医療にオープンダイアログ（対話中心の治療法）を活用し、実践している訪問看護の現状について」の講義を行った。

【千葉市身体障害者連合会】

（廣田委員）資料「福祉推進団体等－3」の内容を発表。

内容については資料のとおりである。新たな取り組みとして、精神障害者卓球大会のお手伝いを連合会が行った。

また、先程の委員長から障害者スポーツ大会での中学生ボランティアの話があったが、陸上競技の計測員も高校の陸上部の子だったりする。若い世代の方たちに障害者スポーツを見てもらうことはとても大事だと思う。なお、今回のスポーツ大会で優秀な成績だった方々が10月に茨城県で開催される全国障害者スポーツ大会に千葉市代表として出場する。開会式はテレビ中継があり、競技もインターネットで中継があったかと思うので、気にかけておいていただきたい。

その他として、千葉市身体障害者連合会では、市内の小学校に赴き福祉講話の実施を行っている。平成29年度は32校の学校、昨年度は40校の学校を訪問した。今年度はまだどのくらいできるが分からないが、個人的には10月の中旬くらいに土気南小で福祉講話を行う予定がある。この委員の中にも学校との関わりのある方も多くいるかと思うので、近くの学校で福祉講話の開催の話があった際は、ご見学いただきたい。

また、我々が開催する行事は、どうしても会員の親睦を深めるための行事が多く、皆様にご案内するようなものは少ないのだが、障害者作品典のような対外的に開放する行事については市政だよりも案内が出るので、気にかけておいていただき、ぜひ会場にお越しいただきたい。

【おゆみ野泉谷自治会】

（松戸委員）資料「福祉推進団体等－4」の内容を発表。

おゆみ野泉谷自治会は世帯数が97あり、さりげない見守り活動はルーティン化されている。ここのところ、町内の空き地が開発され28世帯程新たな世帯が加わるため、その方たちをどう受け入れるかを検討している。以前から住んでいる住民とは関係性がとれているが、新しい住民の対応には苦慮しているところである。

（岡本委員長）見守り活動の方はいかがか。

（松戸委員）希望者は4人程いるが、状況はよく把握できており、週に1回声掛けは行っている。

【あんしんケアセンター鎌取】

(高橋委員) 資料「福祉推進団体等－5」の内容を発表。

あんしんケアセンター鎌取については、取組項目28「地域の課題解決に向けた連携」について発表させていただく。①の平成30年度の継続については、地域の皆様自らに課題について気づいていただき、解決していただくためのきっかけづくりのための公開講座を掲載している。今年度も引き続き開催しているので、資料にてご確認いただきたい。

②の令和元年度の新たな取組みについては、椎名地区部会の発表でも話があったが、古市場という地域にスポットを当て、介護保険に関する出前講座を計画し、既に2回の開催を行った。この古市場という地域は、地理的にはあんしんケアセンターから遠い地域でもあり、相談したくてもなかなかあんしんケアセンターまで来られないという地域ということで、我々から出向いて椎名地区部会と協力して開催している。また、終活についての講座は前年度から行っているのだが、非常にニーズの高い講座でもあるので、もう少しピンポイントで情報発信をしていきたいと考えている。

【あんしんケアセンター誉田】

(宮崎委員) 資料「福祉推進団体等－5」の内容を発表。

あんしんケアセンター誉田としては、②の新たな取組みしか掲載していないが、前年度に実施していた誉田町2丁目町内会でのミニ講座の開催については健康測定会という形を変えた形で継続している。

②令和元年度の新たな取組みとして、あんしんケアセンター誉田では第1・3木曜日に認知症カフェをオレンジカフェという名目で開催している。1回あたり3人程のボランティアの方で対応させていただいているが、今後ボランティアの方が増えれば回数も増やしていただけるのではないかとということで、ボランティアの確保ということを目標に掲げさせていただいた。

【あんしんケアセンター土気】

(布施委員) 資料「福祉推進団体等－5」の内容を発表。

あんしんケアセンター土気としては、前年度からの継続の事業が中心となっており、認知症SOS声掛け訓練の実施や中学生向けの認知症サポーター養成講座の開催を通じて認知症になっても安心して暮していける地域づくり体制づくりを行っていかねばと考えている。

認知症SOS声掛け訓練については、認知症の方を見かけた時に地域住民の方としてはどのようにして声をかけたらいいのか分からないという声が聞かれるので、疑似体験を通じた訓練を行っていきたい。

その他

(緑区長) 本日各委員様のお手元に「ちばしウォーキングポイント」のチラシと前回の会議に話題にあがっていた「ちば風太WAONカード」を配布させていただいております。詳しくは、市政だより7月1日号にもご案内が掲載されて

おりますので、地元に戻りましたらご周知等お願いいたします。

(岡本委員長) 今回緑区連協の大槻会長のご支援等もあり、各地区連協の会長の皆様方にも参加いただき御礼申しあげる。また、委員の皆様方からも非常に充実したご意見、課題等をいただきましたので、次回の第2回の推進協議会ではどういう活動をしたのかということをご報告いただきたい。また、来年度には、第5期計画の策定にも入らなければならないかと思うので、今後は課題も明確にしながら進めていきたいと思う。

本会終了後に広報部会を開催するので、広報委員はお残りいただきたい。

岡本委員長が閉会を宣し、第1回緑区支え合いのまち推進協議会は散会。

※終了後は広報委員が集まり、広報部会を実施